



時には深夜までに及んだ通話交換業務

有線放送は、多くの方々のご努力により、昭和34年2月に「有線放送電話」という名称で開設

有線放送主体で開設

町の広報機関として、町民の皆さんに親しまれてきた有線放送は、昨年12月で廃止されました。そこで、28年にもおよび長い間の業務経過を振り返って簡単に紹介します。



28年の業務を終える

有線放送

たようなら

され、加入者間の通話業務が主体でした。

当時は、電話の普及率が低い時代でしたので、有線に寄せる関心は高く、「画期的な事業」として脚光を浴びました。

月改修工事で機能拡大

その後、41年9月に施設の大改修工事を行い公社電話との接続が可能になり、通話と放送の2つの機能を生かした有線は、さらに地域社会の情報媒体として広く利用されました。

月放送一本化

しかし、便利な有線も急激な経済成長と公社電話の著しい普及により、通信件数も年々減少

し、51年3月には17年に及ぶ通話が廃止され、放送のみの業務に移行しました。同時に施設名も「有線放送」と改めると共に放送設備も自動化に改善されました。

月地域の発展に貢献

放送一本化になってからの有線放送業務は、町からの一方的なお知らせだけでなく、町民参加の有線にと積極的な番組が次々と企画され、マイク片手の取材活動が活発に行われました。中でも、民謡や歌謡曲を唄ってもらい「あなたと私のメロデ



よりよい放送に…点検・修理

イ」、地域や各種団体等の行事・話題を紹介する「マイクプログラムナード」、趣味や特技を持つ人を紹介する「マイク訪問」、町政や農事、学校等を紹介する「みんなの行政」「伸びゆく農村」「学校だより」など、お茶の間の話題になり好評な番組でした。

月長い歴史の幕を閉じる

このように、有線放送は、皆さんの日常生活の中に溶け込み、町や地域の発展に大きく貢献してきました。このたび、時代の要請により「防災行政無線」にその座を譲ることになりました。開設以来今日まで、重要な役割を果たすことができたのも、放送業務の運営等に力を注いでいただいた関係者の方々のご努力と町民の皆さんの暖かいご協力によるものと深く感謝を申し上げます。

「さようなら有線」町の発展を支え、皆さんと共に歩んできた有線放送は、ここに思い出多い歴史の幕を閉じさせていただきます。

有線放送施設の撤去にご協力を

有線放送は、防災行政無線の導入に伴い、昨年12月定例町議会で条例の廃止が可決され、同月末日で廃止になりました。電柱や電線などは今月中旬から撤去いたします。撤去の際は、町民の皆さんに何かとご迷惑をおかけすることになりますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

町職員

人事異動

住民課主幹の川嶋忠さんが12月16日をもって退職されました。永い間、ご苦勞さまでした。